

イタリア 第34回ハーフマラソンフィレンツェ ビビチッタ 5 kmのウォーキング部門に女性5人で参加

2017年4月9日(日) report 吉越悦子

UISPO フィレンツェ委員会の責任者エレナ・ペラゾさんが迎えてくれました



ホテルから約20分歩いて、集合場所サンタ・クロッチェ広場に着きました。「チャオ エレナ・ペラゾ」と書いた紙を見せたらすぐ係の方が彼女を呼んでくれ無事出会えました。

スポーツ連盟国際部・佐藤静雄氏が私たちが行くことをUISPOのトップの方(ローマ在住)に連絡してくれ、エレナさんに取り次いでくれました。



ゼッケン Tシャツ ナップバックをいただく



レッドカーペットが敷かれたゴールバックの美しい大教会はミケランジェロ、Gガリレイ、ダンテなどの墓があるサンタ・クロッチェ教会



特設ステージ壇上にて、日本からの派遣団として、全員が名前を紹介されました



素晴らしい記念プレートをいただきました
神奈川県ランニングセンターへお届けしました

Tommasino Bacciotti 財団による

「幼児の脳腫瘍に関する研究、治療、助成と情報」の呼びかけ

赤字は「すべての子供は未来に対する権利を有する」といっています。

(佐藤繁さん訳)



朝の広場の様子



こちらのイケメンはフィレンツェトライアスロンのユニフォームで走るようです。

特設ステージに並べられたカップの数にびっくりしました。表彰台はオシャレにイタリア3色です。



トイレです



救急隊のようです



もりあがっています

ハーフマラソン スタート風景 午前9時30分 (有名なベッキオ橋近く)



国立中央図書館前の美しいアルノ川沿の道路は人々で埋め尽くされ、司会者が大音響で盛り上げています



どうやら、美女に視線が・・・



ウォークの皆さんもランナーに続いていつの間にかスタート 私たちは取り残されそうになりました

赤ちゃんもおばあちゃんも、子供も犬も沿道も、み～んなビビチッタ～！

Walk の部



「海外でレースに参加されているみなさんは本当にすごいです。素敵でした。これからも体を大切に継続なさってください。」と偶然お会いした日本人からメールで写真が。



参加者／荒波充 熊島 阿部 永井
吉越

今日はピサの斜塔へツアーで出かけた荒波剛さん含め、計6人

ウォーキングコースの続き



スタート直後 橋を渡って対岸を走るランナーがみえます アルノ川の河畔は美しい



結構速歩き 記念品の黒いナップサックが目立ちます



1 キロ地点の表示 こちらも学生さんのようです



街中に入る ランナーが追い越していきます



ルネサンス美術の発祥地フィレンツェ。フィレンツェの街は歴史ある美術館や教会が立ち並び素晴らしい。趣のある石畳が続きます。しかし街が放射状になっているところが多いため、道がわからなくなってしまいます。ウォーキングコースのチェックをしてなかったのが、これは5kmのコースで間違いいかと身振り手振りで確認、自信満々にそうだと言われ安心してついていったのですが・・・これ5キロないよね〜と不安が募る。3・4キロ表示も見失ったので、再チャレンジしなければ・・・。



Mezzaperuno (種目のひとつ)

ハーフマラソン 21.1km をさらに半分に区切って、ペアの男女が前半後半とたすきをつなぐものだそうです。中間点は Via dei Benci ベンチ通りと Via dei Neri ネーリ通りの交差点で丁度スタート地点とヴェッキオ橋の間あたりにあります。勿論二人は同じゼッケン番号をつけます。いいね！

ゴール後の交流 サンタ・クローチェ広場にて



一緒に歩いた方々と



左の女性は UISPO の重要な役職の方のようです



イタリアのご婦人 とても気さくです



エレナさんと役員さん 日本きてくださいね



エレナさんはゴールする選手にメダルをかけています



お姉さんたち、スタートでも見かけました

34^ HALF MARATHON FIRENZE Vivicità UISP
9 APRILE 2017
CLASSIFICA MASCHILE 21,097 KM

男子 1 位
1. NGENO Daniel Kipkirui 1 02' 29' ' (RECORD)
女子 1 位
1. MUKANDANGA Clementine 1 12' 31' ' (RECORD)



ホットティがゴールに用意されていた。日本では「環境保全の観点から紙コップは使わないで」と言っていた時期があったと思うが、どうなの？ と〜でも美味しかった！



Uispo のホームページに掲載された左・熊島さん
いいね！ 17件

hmfvivicitta#vivicitta è internazionale! Ecco a #Firenze una rappresentante della delegazione giapponese con uno splendido ricamo dedicato all'evento. Quest'anno vivicitta si tiene anche a #Tokyo. #run #uisp #sportpertutti @uispnazionale

佐藤繁さん訳

Vivicitta は国際的です。この Firenze 版の写真集に、本イベントに向けた素晴らしい刺繍を持った日本からの派遣団の代表者がみてとれます。今年の Vivicitta は東京でも開催されています。

カンツォーネの第一人者
村上進さんがいざなってくれたイタリアへの旅、
そして素晴らしい
ビビチッタの思い出



村上 進 1948.2.16(昭和 23)~1994.8.19(平成 6)

'75 イタリアのローマ、トリノで勉強、イタリア国営放送のオーディションに合格、カンツォーネ歌手としてテレビに出演。帰国後、銀巴里、新宿ミノートル、全国公演、ホテル・ディナーショー、テレビなどで活躍した。46歳の若さでの急逝。彼の歌声にあこがれてのイタリアの旅は終わった。

神奈川県スポーツ連盟内ファンクラブ

ぶどうの季節

https://www.youtube.com/watch?v=bwA_SCwF_Jc

思い出のシチリア

https://www.youtube.com/watch?v=Py9Jgh_baDc

他に「カルーソ」「愛は限りなく」「アラビア」「夢」「ナポリへの涙」など

イタリア 第34回ハーフマラソンフィレンツェ ビビチッタ 5kmのウォーキング部門に女性5人で参加

写真・文 神奈川ウォーキングクラブ事務局長 吉越悦子

例年4月第一日曜日に開催されてきたビビチッタ、イタリア2017年の開催日は4月9日(第2日曜日)と、かなり遅くなって発表があった。ネットでの申し込みを英語で進めるも選ぶ言葉がイタリア語(あ〜これがイタリアのアバウトさ?)で四苦八苦。とうとうイタリア語のできる会員さん(佐藤繁さん)に手続きしてもらい5kmのウォーキングの受付書を手した。費用は参加費、クレジット手数料等含め1人約6.3ユーロ/760円。また、9日にフィレンツェに滞在できる旅行社のツアーが運よく見つかり、日本のビビチッタが掲載された「スポーツのひろば」などを詰め込んで4月6日に成田を発った。ローマ→フィレンツェ→ベネチア→ミラノの8日間の旅の中で、9日に半日離脱してビビチッタへ参加した。



国際部の佐藤静雄氏が UISPO へ連絡してくれてあり歓待を受けた。右の記念プレートをいただく



楽しんでる様子は日本の何倍も！

集合のサンタ・クローチェ広場は、レッドカーペットが敷かれ豪華なゴールにもなっており、ミケランジェロ、G ガリレイなどの墓がある美しい大教会を背に表彰台を特設していて、ずらりと並ぶ表彰用のカップの数に驚いた。司会者がまるで歌でも歌っていかのようにスピーチしています。その内容は不明ですが、おおいに大会を盛り上げている様子。

すべての種目が9時30分同時に スタート walk も最後尾から



追いかけるように続いて歩いた。子供もベビーカーを押したお母さんも楽しんでいる。街中で時折ランナーが追い越していきます。Run コースは観光スポット、ドゥオーモ広場・ヴェッキオ橋などを走ります。さて、日本のカンツォーネの第一人者だった故・村上 進さんへの憧れが、フィレンツェビビチッタへいざなった旅は、陽気なイタリアの人たちが家族のように感じられた旅だった。特にウォーク終了後やさしく背中をさすってくれた Mamma マンマのやさしさが忘れられない。

熊島八重子：日本からやってきたと大きく取り上げられ舞台に引っ張り出され、名前を一人ひとり紹介されました。広場のあちらこちらでフラッシュの嵐でした。故・藤崎久子さんの作ったキルト二枚を掲げて歩いたせいか途中、一般の方々から大声援を受けたことが印象的でした。今年のテーマは「ストップ・いじめ」この言葉は日本のみならず世界中に広めてゆく必要があります。ビビチッタの参加は私にとって良き体験、良き思い出です。



国立中央図書館前の美しいアルノ川沿の道路は人々で埋め尽くされ、男女の司会者が大音響で「ボンジョールノ・・・」などと盛り上げている。日本のような統一したシャツではなく様々な T シャツを着たイケメン選手もリリリだ。ウォーキングの部門もいつの間にかスタート、